

大学図書館問題研究会京都支部第 34 回京都支部総会議案

【第 1 号議案】

2010 年度（2010. 7～2011. 6）活動総括および

2011 年度（2011. 7～2012. 6）活動方針

1. 2010 年度活動総括

(1) 研究交流活動

2010 年度は、2 回以上のセミナー開催を年度目標とし、実現しました。2010 年 12 月に開催した大図研京都ワンディセミナーでは、障害学生支援をテーマに京都大学及び立命館大学の実践例をご報告いただき、参加者アンケートでも好評をいただきました。また日程調整の関係上、2011 年 7 月の開催となりましたが、「伝える技術の向上」をテーマにしたワークショップ形式のセミナーを企画しました。

セミナーでは、従来、参加者との協働を目的に当日準備担当を募っていましたが、今年度は、企画実施全般における有意義な経験の共有等を目的に、支部委員以外のスタッフを募集しました。これに 3 名の応募を得て、7 月開催のセミナーでは、立案段階からの協働を行いました。

広報については、メーリングリスト等への周知、京阪神の大学図書館等へのチラシやメールでの案内、Twitter アカウント「daitokenkyoto」による発信などを展開し、参加者数の増加を図っています。また、あらたな会場での実施、適切な参加費設定の検討などよりよい運営の検討を進めています。

1) 大図研京都ワンディセミナー「障害学生支援の新たな潮流：大学における障害学生支援課題と図書館の実践報告」

日時：2010 年 12 月 18 日（土）13:30～16:45

講師：村田 淳氏（京都大学身体障害学生相談室相談室員）

河野恵美氏（立命館大学教学部共通教育課サービスラーニングセンター障害学生支援室主事）

丸山浩史氏（立命館大学図書館サービス課）

場所：京都私学会館 205 会議室

参加費：大図研会員は無料／非会員は 500 円

参加者数：40 名

2) 大図研京都ワンディセミナー「伝える技術を磨こう：比較文化の視点で発信力アップ！」

日時：2011 年 7 月 30 日（土）13:30～16:45

講師：松中みどり氏（アジアセンター英語講師、アルク教育社講師、

ピナツボ・アエタ教育里親プログラム代表）

場所：京都市国際交流会館 第 1 会議室

参加費：大図研会員は無料／非会員は 500 円

公募企画チーム：久保山健（大阪大学附属図書館）・三本木彩（京都大学文学研究科図書館）・田中翔大（立命館大学図書館）

(2) 支部報

発行期日の遅れは生じましたが、計画的発行に努め、所定の号数を発行しています。くわえて、小特集としてイベントについて複数の寄稿を得たり、あらたな連続記事として「わたしの図書館紹介します！」を開始したりするなど、紙面の充実を図っています。

なお、会員はもとより非会員からも幅広く寄稿していただきましたが、会員に「発表の場を提供する」という目標の実現は、引き続いての課題です。

また、バックナンバーの電子化・保存のプロジェクトを継続して実施しました。これにより151号以降を欠号なく揃え（初号から150号まではCD-ROM化済）、電子化するとともに、国会図書館への納本を実現しました。併せて、支部サイトでの公開を目的に、著作権者への周知を行いました。現在、支部サイトの過去発行号目次の遡及入力を完遂し、ここにスキャンした各号を掲載する準備を進めています。

今年度発行した支部報の目次は、次のとおりです。

1) 支部報 No. 277(2010/08/15 発行)

- * 大学図書館問題研究会第33回京都支部総会を開催しました
- * 2009年活動総括および2010年活動方針
- * 2009年度決算案および2010年度予算案、会計監査報告
- * 2010年度大学図書館問題研究会京都支部役員
- * 大学図書館問題研究会第33回京都支部総会 議事メモ・補足事項
- * 大図研京都ワンディセミナー参加報告：大学教育改革のただ中、図書館員の『営業』的アプローチとは（安藤 誕）
- * 大図研京都ワンディセミナー参加報告：教員と連携して効果的な情報リテラシー教育を実現するために（梶谷 春佳）

2) 支部報 No. 278(2010/10/15 発行)

- * 大図研京都ワンディセミナーのご案内
- * 支部委員挨拶
- * 第41回全国大会報告
- * 大図研京都支部忘年会のご案内

3) 支部報 No. 279(2010/12/15 発行)

- * 支部報バックナンバー電子化に伴うお願い
- * 小特集：kulibrarians vs Lifo 決戦！京都冬の陣 kulifo 参加報告（八木澤ちひろ）
- * 小特集：kulibrarians vs Lifo 「ku-librarians vs Lifo」こぼれ話（光森奈美子）
- * 「第11回図書館総合展L-1 グランプリ」参加報告 図書館総合展L-1 グランプリに参加して（長坂和茂）
- * 移転はつらいよ～経験と失敗より（野間口真裕）
- * 原稿執筆と生みの苦しみ（池田貴儀）

4) 支部報 No. 280(2011/02/15 発行)

- * 関西3支部新春合同例会のご案内
- * 小特集：大図研京都ワンディセミナー参加報告～大学図書館としての障害学生支援を考える（三本木彩）

- * 小特集：大図研京都ワンディセミナー参加報告～「できることから始めよう！」
－2 大学の取組事例－（藤山優美）
- * 小特集：大図研京都ワンディセミナー参加報告～広がりを見せる障害学生支援について（日置将之）
- * 連続企画：わたしの図書館紹介します！紹介番号1 京都大学工学研究科桂地球系図書館（坂本拓）

5) 支部報 No. 281(2011/04/15 発行)

- * 関西3支部新春合同例会 終了しました
- * 大学図書館問題研究会 関西3支部新春合同例会「めざせ！図書館発、USTREAM 中継！」参加報告（水野翔彦）
- * 資料保存動画作成過程～思想と方法について（長坂和茂）
- * 次回ワンディセミナーの予告

6) 支部報 No. 282(2011/06/15 発行)

- * 大学図書館問題研究会第34回京都支部総会のご案内
- * 大学図書館問題研究会第34回京都支部総会議案
- * 京都支部委員の募集について
- * 書評櫻田忠衛著「経済資料調査論の構築：京都大学経済学部での試み」（堤豪範）
- * 「平成23年度関西 MLA 名刺交換会」実施報告（岡部晋典）
- * 大図研京都ワンディセミナーのお知らせ
- * Web サイトやブログをお持ちの方、京都支部の Web サイトからリンクを張りませんか？
- * 大図研京都ワンディセミナーのお知らせ
- * 京都支部 Twitter アカウント「daitokenkyoto」をフォローしませんか
- * 大学図書館問題研究会第42回全国大会のご案内

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトでは、イベントのお知らせや、支部委員会の報告等、支部活動の記録を定期的かつ迅速に掲載しています。2011年6月30日現在、10,215アクセスを得ています（アクセスカウンター設置：2006年8月22日）。

メールマガジンは、「大図研京都支部 NewsLetter」として、no.108（2010年7月2日）から no.125（2011年6月2日）を発行しました。支部委員会議事録、支部企画案内等を随時送信することで支部活動をお知らせするとともに、月1回のイベント案内を定期的に発行し、好評を得ています。

(4) 組織活動

会員数は、2011年6月30日現在65名で、2010年度当初の現勢を維持しています。また、セミナー案内チラシへの入会案内同封や個別の勧誘等を積極的に行うなどして、あらたな会員獲得に努めています。

(5) 財務

昨年度に引き続き、会費納入率の向上に努めています。また、所定の会費徴収スケジュールに則った計画的な督促業務を行うことによって、低い未納率も維持しています。なお、各年度の未納率は次のようになっています。2007年度1%、2008年度3%、2009年度6%、2010年度10%（2006年度以前は0%。休会扱い1名を含む）。

(6) その他

全国大会では、支部会員から意見を募った上で大図研の運営改善等に関する提案を行いました。また、大図研 Web サイトの更新プロジェクトについても提案を行っています。

また、例年どおり「大学の図書館」の1号の編集を担当し、5月号（特集：図書館員の外国語事情）を作成しました。

2. 2011年度活動方針

(1) 研究交流活動

会員のニーズに応じた研究活動の充実をはかり、会員の専門的力量形成と交流に役立つため、セミナー等を2回程度、開催します。また、積極的な参加と交流の実現のため、セミナー企画段階からの参加募集の試みを継続します。適切な参加費設定の検討も引き続き進めていきます。なお、地域における積極的な参加を促すため、京都および周辺地域の大学図書館等、関連する組織への広報も継続していきます。

(2) 支部報

定期発行と正確で読みやすい誌面の作成とともに、広く寄稿を求めかつ連載記事を企画することにより、コンテンツの一層の充実に努めます。また、自己啓発や会員間交流の場としての支部報のみならず、より多くの会員に「発表の場を提供する」支部報となるよう引き続き努力します。また、電子化したバックナンバーの支部サイトへの遡及掲載作業を進めます。

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

京都支部の活動に関する情報をわかりやすくかつ迅速に提供するため、Web サイトを随時更新します。とくに支部報記事の電子化による積極的な公開や会員リンクの充実など、コンテンツの拡充と会員間コミュニケーションの促進を一層強化します。また、メールマガジンの定期的な発信を継続するとともに、Twitter アカウントの積極的活用を模索します。

(4) 組織活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。セミナーをはじめあらゆる機会をとらえ、関連組織への広報の実施と入会の勧誘に努めるだけでなく、魅力的な会報づくりや有益なセミナーの開催、会員交流の場の提供等、充実した支部活動を行います。

(5) 財務

所定の会費徴収スケジュールに従い、個々の会員へ個人別会費納入状況のお知らせや振込用紙の発送を行うことで、会費納入率を維持します。また、長期滞納者を作らないため、滞納の兆候が見られた段階での積極的な督促を行います。なお、節約の結果として積み立てられた予備費を効果的に活用する方策として、有料の講師や連続セミナー等に向けての積立金を作成するなど、研究交流活動の一層の充実策を引き続き検討します。

(以下の議案は当日配布します)

【第2号議案】2010年度決算報告活動総括 及び 2011年度予算及び会計監査報告

【第3号議案】2011年度支部役員選挙